

2. 魅力あふれる地域・交流圏の形成

2025年大阪・関西万博を機に人・モノ・投資を広く呼び込むため、兵庫の魅力を世界に向けて発信します。移住施策の強化、スポーツ・芸術文化の振興や社会基盤の充実・強化にも取り組みます。

ひょうごフィールドパビリオンの展開

県全体をパビリオン(展示館)に見立て、地域のSDGsを体現する活動を体験できるプログラムを認定。旅行客の受け入れ環境整備やガイド・通訳等の人材育成研修等を行うほか、国内外でプロモーションを実施します。



海外向けのPR動画を制作し、外国人旅行者の誘客を行います。

大阪湾ベイエリアの活性化

クルージングMICEの支援や、岡山県・香川県との周遊クルーズ実証実験、淡路交流の翼港の浮棧橋の改良等を行います。



船上で開催される会議等(クルージングMICE)を支援します。

社会基盤の充実・強化



3月21日に開通した東播磨道片山地区(下村高架橋南側)。

地域の発展の基盤となる高規格道路ネットワークの整備を着実に進めます。また、市町・JR等と連携し、JRローカル線の維持・活性化に向け、利用促進や駅周辺の活性化に取り組みます。



パラスポーツを体験できる出前講座等を実施します。

多様化するスポーツの振興

神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会の開催を機に、障害やパラスポーツの理解促進に取り組みます。スポーツ行政の所管を知事部局に移し、観光や地域振興等の施策と連携を深め、スポーツの持つ力を最大限発揮させていきます。

ひょうごプレミアム芸術デーの実施

期間中、県立の芸術文化施設に加え、一部の市町や民間の施設にも対象を広げ、無料開放します。また、障害のある人や子育て中の人なども楽しめる取り組みを新たに実施します。

期間:7月11日(金)~17日(金)



ひょうごプレミアム芸術デーでは、本年度も多彩なイベントを行います。

兵庫デスティネーションキャンペーンの展開



観光列車「兵庫テロワール旅号」が県内を駆け抜けます。

JR各社とタイアップし、「兵庫テロワール旅」をテーマに、地域に根ざした食・文化・歴史を“知る”・“味わう”・“感じる”旅のスタイルを提案します。

期間:7月1日(土)~9月30日(土)

策

県政において特に重要な施策を「5つの柱」とし、さまざまな事業に取り組みます。

兵庫県 令和5年度予算

他の取り組みなど詳しくはこちら



measures

基盤の強化

医療・介護体制の充実



立位保持をサポートする介護ロボット。

産科医療体制に関する研究会を設置するとともに、介護の質の向上や働きたい職場づくりを図るため、ワンストップ型相談窓口

を創設します。また、県立病院でWi-Fi環境の整備を進めます。

利用者の健康状態や動作をベッドのセンサーで感知し見守る介護ロボット。異常があればモニターを通して状況を伝えます。

地域の安全安心を支える体制の強化

犯罪被害者等の総合的なサポートセンターを立ち上げ、相談窓口の他、支援体制を強化します。また、ネット上の誹謗中傷等に対応するため、県弁護士会等と連携したサポートチームを設置します。県警では、ストーカー被害の相談対応強化として通信機能付きGPS端末の貸与なども行います。

5. 県政の推進基盤の構築

企業や大学等との連携を充実させ、対話を重ねながら、時代の変化やニーズに合った施策推進を図ります。

情報発信力の強化

県内への観光誘客等につなげるため、公民連携型アンテナショップの展開など、兵庫ゆかりの人・企業の参画を得るプラットフォームをつくり、首都圏での情報発信等を強化します。



まねき食品(姫路市)とマイスター工房八千代(多可町)がコラボレーションし、今年1月にオープンした「まねきマイスター工房八千代銀座」。看板商品は天船巻き寿司。



豊岡靴の旗艦店として2018年にオープンした「豊岡靴KITTE丸の内店」。豊岡靴初の直営店。

ファンドレイジング(寄付獲得)の展開

「寄付を通じて地域社会に貢献したい」という思いと課題解決を図るプロジェクトを結び付けるため、本県ゆかりの企業等への訪問活動や県内経済団体へのトッププロモーションなどを展開します。

「ひょうごSDGs Hub」による兵庫版SDGsの推進

公民連携組織「ひょうごSDGs Hub」会員の取り組みの発信や会員同士の連携・交流を促進する専用サイトを開設します。また、「兵庫県SDGs WEEK」などの啓発事業を実施します。